

第 1 回江南市都市再生整備計画事業評価委員会

日 時：令和元年 8 月 6 日（火）午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分まで

場 所：江南市役所 3 階 第 3 委員会室

出席者

【評価委員】 A 委員（A 委員長）：学識経験のある有識者

B 委員：地区区長の経験者（布袋地区）

C 委員：地区内在住・在勤・在学者（布袋地区）

D 委員（D 副委員長）：地区各種団体の代表者（布袋地区）

E 委員：地区各種団体の代表者（布袋地区）

【江南市】 都市整備部長（野田）

事務局：都市計画課【課長（石坂）、統括幹（堀尾）、

主幹（小林）、副主幹（今枝）、主任（山田）、書記（森）】

1、評価委員会

1) あいさつ等

発 言 者	発 言 内 容
事務局（司会）	<p>定刻の前ではございますが、皆様、お集まりいただきましたので、ただ今より、第 1 回江南市都市再生整備計画事業評価委員会を開催させていただきます。</p> <p>皆様には大変ご多用の中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めさせていただきます、都市計画課統括幹の堀尾でございます。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>本来であれば、市長よりごあいさつ申し上げるところですが、所用につき出席できませんので市長に代わりまして都市整備部長の野田よりごあいさつ申し上げます。</p>
都市整備部長	<p>皆様、こんにちは、都市整備部長の野田でございます。本当に皆様、お世話になっております。</p> <p>本来ですと市長がごあいさつ申し上げるところですが、所用がございませんので私の方から少しご挨拶をさせていただきます。</p> <p>本日は第 1 回の江南市都市再生整備計画事業評価委員会ということでご多用の中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>今回の評価委員会に際しまして、皆様にお願ひし、委員を引受けていただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>また、皆様には日頃から布袋のまちづくりにご尽力いただいておりますことをこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>今回の都市再生整備計画でございますが、今も進めております鉄道高架事業を始め都市計画道路など基盤整備事業につきましては、国の交付金を</p>

都市整備部長	<p>もらいながら進めております。</p> <p>平成 26 年から 30 年度の計画では、25 億円の事業費に対しまして 10 億円の交付金をもらって事業を進めてまいりました。</p> <p>国の交付金をもらうためには計画をたて目標を掲げて、目標が達成されたかどうかを測るために指標の設定しております。その指標が達成されたかどうかについて評価をするというもので、この項目は必須となっているものでございます。この評価結果を基に、今回、令和 2 年度から 5 年度までの計画も合わせて策定したいと思っております。</p> <p>今回はかなり内容も難しいところもありますので、簡単に事業の内容を説明させていただきまして、次回に評価の内容などについて審議をお願いしていきたいと思っております。</p> <p>では、忌憚のないご意見と円滑な進行をお願いして、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はどうぞよろしく申し上げます。</p>
事務局（司会）	<p>ありがとうございました。つづきまして本来であれば、辞令をお一人ずつお渡しさせていただくところでございますが、お席にお配りさせていただいておりますので、よろしくお願いいいたします。この後は着座にて進行を進めさせていただきますのでよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、会議を進めさせていただきますが、1 つお願い事項がございます。会議の内容につきまして当委員会における各委員のご発言は、国の定めるまちづくり事後評価実施要領に基づきまして、後日、市のホームページに公開することとしておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、本日の会議は 5 名のうち全員の出席をいただいております。江南市都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱第 7 条 3 項により、半数以上のご出席をいただいておりますので、この委員会は成立していることを報告させていただきます。</p> <p>会議を始めるにあたりまして、今回は最初の委員会でございます。委員の皆様、ご就任に当たりまして、一言ずつ簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。順番といたしまして、D 委員、C 委員、A 委員、B 委員、E 委員の順でよろしくお願いいと思います、お願いいいたします。</p>
D 委員	◆◆区の D でございます。よろしく申し上げます。
C 委員	▲▲町在住の C と申します。よろしく申し上げます。
A 委員	●●大学の A でございます。よろしく申し上げます。
B 委員	◇◇区の B でございます。よろしく申し上げます。
E 委員	■ ■ 区の E でございます。よろしく申し上げます。
事務局（司会）	ありがとうございました。続きまして事務局より自己紹介をさせていただきます。
事務局（自己紹介）	都市計画課長の石坂と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。

事務局 (自己紹介)	都市計画課主幹の小林です。よろしくお願いいたします。
	都市計画課市街地整備グループリーダーの今枝と申します。よろしくお願いいたします。
	都市計画課市街地整備グループ主任の山田と申します、よろしくお願いいたします。
	都市計画課市街地整備グループの森と申します、よろしくお願いいたします。
	最後になりますが、都市計画課統括幹の堀尾でございます、どうぞよろしくお願いいたします申し上げます。

2) 委員長、副委員長の選出

発言者	発言内容
事務局 (司会)	それでは、「委員長、副委員長の選出について」でございます。委員長、副委員長が選出されるまで、都市整備部長が議事進行をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
仮議長 (都市整備部長)	委員長、副委員長が決まるまで、私が取り回しをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 委員長、副委員長の選出方法につきましては、資料 1 にございますように江南市都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱第 6 条 1 項により委員の互選によって定めることになっておりますが、いかがいたしましょう。
E 委員	委員長は、●●大学准教授である A さん、副委員長は D さんが適任と思います。
仮議長 (都市整備部長)	ただ今、委員長に A さん、副委員長に D さんのご推薦がありました、他にご意見ございませんでしょうか。
各委員	「異議なし」の声あり
仮議長 (都市整備部長)	ご意見がないようですので、A さんに委員長をお願いし、D さんに副委員長をお願いしたいと思います、ご異議がなければ、拍手をいただきたいと思います。
各委員	一同「拍手」
仮議長 (都市整備部長)	ありがとうございました、それでは、A さんを委員長に選任し、D さんを副委員長に選任することに決めます。これからは A 委員長に議事進行をお願いいたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。 A 委員長、委員長席へお願いします。
事務局 (司会)	それでは A 委員長よりごあいさつをお願いいたします。
A 委員長	改めまして、皆さん、こんにちは。今、●●大学におりますけれども、知った皆さんかと思いますが、以前、〇〇大学にありまして、皆さんと一緒に布袋のまちづくりをしてまいりましたが、ものすごく懐かしいですし、ちょうどその事業が形になってきて、次のステップに入り込み、今回非常に楽しみにしています。是非きっちり説明を受けて評価をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局（司会）	ありがとうございました。つづきまして、D副委員長よりごあいさつをお願いいたします。
D副委員長	ただ今、推薦していただきまして、副委員長を仰せつかりました。一生懸命やるつもりですので、よろしくをお願いいたします。
事務局（司会）	ありがとうございました。A委員長には、これからの議事の進行をお願いしたいと思います、どうぞよろしくをお願いいたします。

3) 協議事項

発言者	発言内容
A委員長	<p>それでは、早速ですが次第に従いまして議題を進めたいと思います。</p> <p>まず、議題の1でございます布袋地区都市再生整備計画（平成26年度～30年度）の事後評価について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局（説明）	<p>お手持ちの資料を確認させていただきます。</p> <p>席次表・本日の次第・資料1 江南市都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱・資料2 本日の説明資料で「布袋地区都市再生整備計画（平成26年度～30年度）の事後評価について」・資料3 都市再生整備計画（第5回変更）・資料4 都市再生整備計画事後評価方法書であります。お手元にありますでしょうか。では、パワーポイントに従って説明をさせていただきます。座って説明させていただきます。</p> <p>都市再生整備計画事業と事後評価についてご説明致します。都市再生整備計画事業は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的とするものです。内容は、「都市再生整備計画を作成し、国からの交付金である社会資本整備総合交付金を受ける」「交付期間は、概ね3～5年」「交付終了後は、事後評価を実施し効果の検証を行う」です。今回は事後評価を実施するという事で皆様にお集まりいただいております、下の囲いになりますが「社会資本整備総合交付金：布袋地区都市再生整備計画」で平成26年度から30年度の5年間で国からの交付金を受けており、事業が完了した翌年である本年度に事後評価を実施するものです。都市再生整備計画事業の特徴の1つとして、PDCAサイクルによる事業実施・検証があります。横にかかれたPLAN、DO、CHECK、ACTIONまたはACTの頭文字をとってPDCAサイクルとっていますが、都市再生整備計画事業では、事業評価を事業の良否判断のみに終わらせず、今後のまちづくりに反映させるなど、まちづくりの成果を高めるためにニューパブリックマネジメントの考え方を導入しております。</p> <p>具体的にはPLANとして地域の課題やビジョンに基づいた都市再生整備計画を策定します。DOとして成果を意識して事業を実施します。CHECKとして交付最終年度または交付期間の翌年度に成果の達成度を評価</p>

事務局（説明）	<p>する今回の事後評価を実施するとともに、ACTIONとして必要な改善点は速やかに改善するというように一連のサイクルを導入しています。なお、今回の事後評価の結果は、来年度から実施予定の新たな都市再生整備計画事業に反映していきます。</p> <p>事後評価の内容を説明致します。事後評価の目的は事業がもたらした成果等を客観的に診断し、成否の要因を分析して、今後のまちづくりを適切な方向に導くとともに、これらを住民に分かりやすく説明することを目的としています。実施主体及び実施時期としましては、交付終了年度又は交付期間の翌年度に市町村が実施することになっております。内容につきましては、方法書の作成と事業の成果及び実施過程の検証と今後のまちづくり方策の検討となっております。方法書につきましては、参考に本日資料4としてお渡しさせていただいております。後ほど少しだけご覧になっていただきます。事業の成果及び実施過程の検証については、目標の達成状況を数値で計測し検証していきます。その結果を踏まえ今後のまちづくり方策を検討していく流れとなります。数値が悪かった場合においては今後のまちづくり方策の一環として改善策を検討し、翌年度以降にフォローアップを実施し再度検証していきます。事後評価の手続きといたしまして、方法書を作成した上で、事務局が主体になり評価を実施し、「事後評価原案」を作成します。「事後評価原案」を市民の皆様公表し、意見聴取したうえで、第三者機関による審議を実施し、評価結果をとりまとめます。その結果を国に提出するとともに、次期計画に反映致します。また、翌年度以降にフォローアップも実施する予定です。なお、本日お集まりいただいた「江南市都市再生整備計画事業評価委員会」は、事後評価を審議する「第三者機関」の役割を担うものです。ちょうど赤に着色してあるところをお願いするものです。</p> <p>本委員会の内容についてご説明致します。本委員会は本日の第1回目と11月7日に予定しております第2回目の2回の委員会開催を予定しています。本日の委員会では、都市再生整備計画事業の事後評価の方法についてご説明するほか、平成26年度から30年度に実施した布袋地区都市再生整備計画の内容の確認をお願いするものです。本日は、都市再生整備計画事業の事後評価の目的と実施した事業の確認が主であり、具体的な事後評価の審議は、第2回委員会で実施させていただきますので、ご理解をお願い致します。第2回委員会では、事後評価原案の市民公表結果を踏まえた事後評価の整理結果をご審議頂くとともに、今後のまちづくり方策の確認及び審議とあわせて、令和2年度からの実施を予定している次期都市再生整備計画の内容をご説明します。</p> <p>5ページをお願いします。平成26年度から30年度に実施しました、布袋地区都市再生整備計画事業についてご説明します。布袋地区の対象範囲は、名鉄布袋駅中心とする図で、赤枠で囲まれた約150ha（ヘクタール）です。</p>
---------	--

事務局（説明）	<p>図に示している各種事業については、後ほど説明致します。</p> <p>6 ページをお願いします。本事業を実施するに至った経緯を説明します。本地区は、平成 16 年度から 20 年度までまちづくり交付金を活用し、駅西地区での土地区画整理事業を主にその他生活道路の改善や公共下水道事業等を進め住環境の改善を図った。平成 21 年度から 25 年度には社会資本総合整備交付金（都市再生整備計画事業）を活用し、駅西地区における都市計画道路整備事業を始め公共下水道事業、緑地整備事業など交通結節機能や安心・安全な生活環境の整備を進めた。平成 26 年度から 30 年度には、これまでの事業実施を踏まえて、鉄道高架を中心とした安心・安全な生活環境が確保できるよう各種基盤整備事業を実施した。また本計画より駅西地区だけではなく駅東地区においても各種基盤整備を実施した。</p> <p>なお、本事業の実施にあたって、次の 4 つの課題を設定していました。</p> <p>①本地区内における交通結節機能を向上させる整備は、依然不十分であるため、さらに都市計画道路等の整備を進めていく必要がある。</p> <p>②駅東地区においては、鉄道高架に伴い利便性が求められるなかで、以前からの課題である狭隘道路や浸水被害の解消及び地区の防災性を高めるための新たな道路の整備が必要である。</p> <p>③「魅力と活力あるまちづくり」に繋げていくためには、地域のまちづくり活動と一体的にまちなみの活用やまちあるきの展開を図ることが有効であり、地区の歴史的・地域資源などと調和したまちなみ景観整備が必要である。</p> <p>④布袋駅または駅周辺地域の平面的移動に対する整備が進む中、立体的移動を中心とした安全性や利便性の高い整備を進める必要がある。</p> <p>7 ページをお願いします。「本事業実施にあたっての課題」を受けて、「鉄道高架を中心とした安心・安全な暮らしやすいまちづくり」をまちづくりの目標に設定しました。</p> <p>また、3 つのサブテーマを設定しています。</p> <p>目標 1 鉄道高架の推進と交通結節点の改善 目標 2 安心・安全な生活環境の確保 目標 3 地域資源を生かしたまちづくり</p> <p>です。目標の達成状況を数値で計測しまちづくりの目標の達成状況を計測するための指標を次のように設定しています。1 つめは、「まちの賑わい満足度」です。駅前や市街地が整備され、人々が集いにぎわっていると感じる市民の割合を計測します。整備前は、15%で整備後には 21%以上になることを目標としています。2 つ目は、「防災エリア率」です。計画区域内の対象地域における全体面積に対する防災性が良好な公共用地と周辺地域の面積の割合を計測します。整備前は、78%で整備後には 82%以上になることを目標としています。3 つ目は、「建築促進数」です。計画区域内の対象地域における建築確認申請件数の累計を計測します。整備前は、261 件で整</p>
---------	--

事務局（説明）	<p>備後には 423 件以上になることを目標としています。4 つ目は、「道路整備の満足度」です。道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合を計測します。整備前は、44%で整備後は 51%以上になることを目標としています。これらの計測結果は、次回の委員会で報告いたします。</p> <p>資料 4 の都市再生整備計画事後評価方法書をご覧ください。従前値（整備前）の計測手法と今度の事後評価で検討していただく計測結果の計測手法を簡単にご説明します。1 ページ目に「まちの賑わい満足度」の整備前の計測手法が記載してあります。③の計測手法をご覧ください。江南市戦略計画の目標達成状況把握のために実施された「市民満足度調査（平成 25 年度）」より、「住まい」が「布袋・布袋北小学校区」の人を抽出し「駅前や市街地が整備され、人々が集いにぎわっていると思いますか」の問いに対し「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を従前値としました。事後評価に使うデータの計測手法は⑥のデータの計測手法ですが平成 31 年度及び令和元年度は「市民満足度調査」が実施されないため、別に都市再生整備計画の区域の住民に対しアンケートを実施し、「評価値」を計測しました。次に 2 ページ目「防災エリア率」の整備前の計測手法が記載してあります。③の計測手法をご覧ください。計画区域内の対象地域（国道 155 号以北の区域）における全体面積に対する防災性が良好な公共用地と周辺地域の面積（平成 25 年度時点で整備が完了している幅員 4m 以上でネットワーク化された道路から奥行き 30m 以内の範囲）の割合を従前値としました。事後評価に使うデータの計測手法は⑥のデータの計測手法は従前値と同様ですが⑦評価値の求め方は平成 30 年度（平成 31 年 3 月 31 日）までに整備が完了している箇所を追加し計測する（繰越事業含む。）としました。次に 3 ページ目「建築促進数」の整備前の計測手法が記載してあります。③の計測手法をご覧ください。計画区域内の対象地域（国道 155 号以北）における建築確認申請件数の累計（第 2 期都市再生整備計画の従前値である平成 19 年度の値から平成 24 年度時点までの値の累計）を従前値としました。事後評価に使うデータの計測手法は⑥のデータの計測手法は従前値と同様ですが⑦評価値の求め方は平成 30 年度（平成 31 年 3 月 31 日）までの建築確認申請件数の累計結果を評価値としました。4 ページ目に「道路整備の満足度」の整備前の計測手法が記載してあります。③の計測手法をご覧ください。江南市戦略計画の目標達成状況把握のために実施された市民満足度調査（平成 25 年度）より、「住まい」が「布袋・布袋北小学校区」の人を抽出し「道路が整備され、人や車が安全に通行できていると思いますか」の問いに対し「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を従前値としました。事後評価に使うデータの計測手法は⑥のデータの計測手法ですが平成 31 年度及び令和元年度は「市民満足度調査」が実施されないため、別に都市再生整備計画の区域の</p>
---------	---

事務局（説明）	<p>住民に対しアンケートを実施し、「評価値」を計測しました。布袋地区都市再生整備計画事業の主な事業は次の通りです。事業の位置は、5 ページをご覧ください。</p> <p>10 ページまたは資料 3 の最後のページをごらん下さい。基幹事業は次の 6 つの事業です。</p> <p>道路（街路）：都市計画道路布袋本町通線・現道を拡幅し、西側の歩道を広げる整備を行って歩行者と車を分離し、鉄道高架の完成を見据えた交通結節点の改善を図りました。整備延長は 250m です。</p> <p>道路（街路）：布袋駅東駅前広場・用地の確保を行いました。</p> <p>道路：市道南部第 229 号線・限度額立体交差事業という事業の鉄道高架にあてる負担金の対象路線で記載してあります。道路自体の整備はすでに完了しており実施していません。</p> <p>道路：市道東部第 280 号線、市道東部第 425 号線・駅東地区の狭隘道路を解消することで地区の防災性を目指しました。市道東部第 280 号線は幅員 4m から 12m への現道拡幅で整備延長は 139m です。市道東部第 425 号線は幅員約 1m から 10m への現道拡幅で、整備延長 108m であるため現在も整備中であります。</p> <p>高質空間形成施設（エスカレーター）：布袋駅・地元からの要望も強かったエスカレーターを布袋駅に整備することで、安全で利便性が高くかつ移動の円滑化に大きく影響を与えました。</p> <p>提案事業ですが、</p> <p>地域創造支援事業：布袋駅西地区まちなみ整備は、写真の案内サインを布袋町地内に設置しました。常時設置の看板に対しては国の交付金対象事業の提案事業にし、取り外し可能のものは国の交付金とは関係ない関連事業としています。</p> <p>地域創造支援事業：雨水排水対策施設整備は駅東地区の浸水被害軽減のため排水路、延長＝752m の整備を行いました。</p> <p>事業活用調査：事業調査分析調査は本都市再生整備計画の中間評価と事後評価を実施しました。なお事後評価については現在本会議等で審議中であります。</p> <p>最後に関連事業ですが、この事業は布袋地区都市再生整備計画事業の国の交付金の対象ではありませんが、計画を策定するうえで大きく関連する事業を記載しています。（都市計画道路布袋駅線整備事業・鉄道高架事業・布袋南部土地区画整理事業・国道 155 号線整備事業・市道東部第 439 号線・市道中部第 359 号線・市道南部第 374 号線整備事業・放置自転車対策事業・布袋駅西地区まちなみ整備）</p> <p>事後評価に関する今後の予定を説明致します。7 月 4 日（木）に関係部署の課長による庁内会議が開かれ、事後評価の素案の検討を行いました。その結果をふまえて事後評価原案を整理し、江南市の政策会議で説明したあ</p>
---------	---

事務局（説明）	<p>と、①9月に市議会委員協議会にて原案を説明、②10月に事後評価原案を市民の皆様公表し意見募集を行ないます。そして皆様をお願いいたします。次回の会議のため赤字の記載になっています。③11月7日（木）に第2回事業評価委員会を開催し、市民の皆様からの意見結果の報告をあわせて、最終的な事後評価の審議をお願い致します。その際、次期計画の説明も致します。この会議の結果を踏まえて、関係各課の課長による庁内会議や政策会議で説明し、④12月の市議会委員協議会で説明、⑤翌年1月には事後評価シートを完成し、国へ提出する予定です。その後、⑥令和2年2月ごろ事後評価を公表する予定です。</p> <p>次期計画について説明致します。7月4日（木）に庁内会議が開かれ、次期計画の素案の検討を行いました。その結果をふまえて①現在県の事前相談は終了し、次期計画については江南市の政策会議で説明、②9月に市議会委員協議会にて概要を説明し、また費用便益を計るアンケートも実施します。この9月に次期計画は国に提出するスケジュールになります。そして③9月～12月ぐらいの予定で国との意見協議いわゆる本提出する前の相談を行っていきます。④10月に次期計画の原案を市民の皆様公表し意見募集を行ないます。そして皆様をお願いいたします。次回の会議のため赤字記載の⑤11月7日（木曜日）の第2回事業評価委員会で、市民の皆様からの意見結果の報告をあわせて、次期計画の説明も致しますので、よろしくお願い致します。この会議の結果を踏まえて、庁内会議や政策会議で説明したあと⑥12月の市議会委員協議会で説明していきます。また国からの意見協議の結果が12月の市議会委員協議会に間にあわなかった場合⑧令和2年3月の委員協議会で説明していきます。そして、同月に次期計画を公表する予定です。以上で1）布袋地区都市再生整備計画（平成26年度～30年度）の事後評価についての説明を終わります。</p>
A委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、今事務局から説明いただいた内容につきまして、ご質問などありましたらお聞きしたいと思いますが</p>
B委員	<p>評価の方法ですけれども、満足度の求め方についてももう少し明確なスケールはないですか。</p>
事務局	<p>あくまでアンケートを対象にしています。</p>
B委員	<p>同じ方のアンケートで、前年度、最終年度でやればこれは分かりますが、全然違う人を選んでいきますので、それである数字が載せられるということに疑問を感じるのですが。</p>
A委員長	<p>今と同じ様な質問を何回か聞いたことがあります。それはアンケート方式の評価の1つの課題ではあるのです。しかし、都市再生整備計画事業の場合、5年経ってから聞くものですから、どうしても同じ人に聞くことが聞きづらく元々無作為の抽出でやるものですから地域の民意、全体の平均的な民意として聞くことを便宜的にする。満足度調査に関しては、無作為</p>

A委員長	抽出で前回と今回の抽出しているのであれば、厳密に言うと同じ人に聞いて、どれだけアップしたかをみるのが絶対評価として重要なことなのですが、それは現実的に非常に難しいので、便宜的に今回採用しているやり方をしても良いのではないのでしょうか。他地区でも同じような方法でアンケート調査を実施されており、都市再生整備計画事業の性格上は、そういうやり方でも良いと解釈されます。今後の課題としてはあるのですが。
B委員	例えば、同じ地区の人の何名、別の地区の人の何名を、人数は合わせてアンケートを取るべきではありませんか。
A委員長	それは大抵合っているはずです。無作為抽出は大体一定のエリアでとっているのです、地区毎の抽出は大体似たような形になっている。今回の場合、事業区域内でとっているのですよね。
事務局	無作為でとれば、それなりに均等になると思います。
C委員	年代別とかじゃなく、女性男性の関係なく、総人数、対象人数を何人で決めているのですか？
事務局	今回の事後評価のアンケートについては、500人の方に送って、戻って来たのが246人でした。大体半分ですね。
B委員	本町のまちの真ん中の人と駅の近くの人とで、満足度が変わってくると思うのですが、それで同じ土俵に乗せてやることはどうかと思質問していますが。
事務局	この事後評価のアンケートは、先程言いました赤で囲ってある都市再生整備計画のエリアをかすめている町内を対象に出しています。
A委員長	<p>今ご説明いただいたのは、赤の範囲なので比較的地区に直接的に利害関係のある方々である。今回この評価に関しては、事業の区域内の方々に対して整備前後もアンケートをとっている、ご懸念の所はあるにしてもほとんど同じ町内であり、ご指摘のことは大事なことから今後アンケートをやる時には抽出方法や地域ごとの何らかの留意点を見直した方が良いかもしれない。次回の評価委員会が終わった後に事後評価シートに今後気を付けるべきことを書く欄があるためそこに載せる事項は極めて重要なことであり、記録に残して置きたいと思います。</p> <p>事後評価委員会は資料3の図面の通り、要は過去5年間の平成26年度から30年度の間だけこの事業を行い、これが効果的に行われたかということの評価を行う。</p> <p>今回は、11月に本議会として、我々が審議する訳ですが、事後評価を実施するのがだれかという行政であり、その仕方は国でキッチリと定められており、全国で過去20年位前から1,000地区以上で事後評価をやっており同じことを国として一律この方法でやりなさいということで、それに基づき江南市が自分の所で事業を行い、江南市が国の定めによる評価を行うと手前味噌となるので、それが客観的に行われているかを第三者的にチェックすることが我々の仕事であります。それと共に来年度から実施する次期</p>

A委員長	<p>計画は、今、県や国の方で調整中ですが、過去 5 年間でやった事業がどんな結果であったかということとこれを行った結果、次にどんなことをすべきかを我々が議論すべきことである。来年から行う次期計画の事業の内容が一致するのを確認するのが 2 つ目の目的であり、簡単に言ってしまうと次回我々が審議することになります。</p> <p>そのために、今日は過去 5 年間でやった事業の内容を改めてご説明いただいたということです。そのほか、質問等あればお願いします。</p>
D副委員長	<p>資料 3 の 5 ページの図面ですが、以前にいただいた資料と変わったところがありますか？</p>
事務局	<p>変わったところはありません。</p>
A委員長	<p>この事業内容を踏まえた上で、次回の委員会までにそれぞれお持ち帰りいただいて見ておいていただきたいと思います。</p> <p>次回の委員会は前段の説明は飛ばして評価の内容に入ってしまうので、この復習は我々自身でお願いしたいと思います。</p> <p>ほかにご質問はございませんか。では、ご質問も無いようですので、2 つ目のその他に移らせていただきます。</p>
事務局（説明）	<p>今回は 11 月 7 日（木曜日）に第 2 回事業評価委員会を開催しますので出席をお願いします。時間は午後 1 時 30 分からで場所はこの場所となります。次回には内容の審議をお願いし、次期計画についても説明させていただきますので、ボリュームも多くなり大変になりますがよろしくをお願いします。資料は事前にお渡しします。以上で 2 その他についての説明を終わります。</p>
A委員長	<p>その他について、ご質問はございませんか？</p> <p>それでは、本日の議題はこれにて終了させていただきます。ご協力をありがとうございました。では、事務局の方へお返しします。</p>
事務局（司会）	<p>最後に全体を通して何かご質問、ご意見等がございましたらお伺いいたしますが？</p> <p>これをもちまして、第 1 回江南市都市再生整備計画評価委員会を閉会します。本日は長時間にわたり誠にありがとうございました。</p>